

タイトル

「令和4年度第5回関東地区高校生介護技術コンテスト」の実施



▲リモートによる「介護技術コンテスト」の開催

8月26日（金曜日）、古河第二高等学校を会場に、令和4年度第5回関東地区高校生介護技術コンテストを開催しました。関東1都6県から各都県の代表校7校が参加し、それぞれ介護技術をリモートで発表しました。

このコンテストは関東地区の高等学校で福祉を学ぶ生徒が交流を深め、お互いの介護力を高める場として開催されるもので、昨年から2年連続で本校が会場校となりました。

本来は参集型で開催しますが、今年もコロナ禍であることを考慮し、リモートでの開催となりました。



▲リモートでの発表「介護のポイントの説明」

コンテストでは、まず競技として動画での発表が行われました。各校の出場選手が自分の学校を紹介した後、事前に提示された課題に沿って介護技術を行い、行った介護のポイントを発表しました。それぞれ発表後には審査員から講評をいただきました。競技終了後はリモートで「介護を行っていて楽しいと思うのはどんなときか」などの質問に参加校の生徒が答え、交流を図りました。



▲関東地区の生徒が交流

参加した生徒からは、「課題に取り組むことで技術の向上だけでなく、深く考えたり、仲間と協力したりと多くのことを学べた」「他の学校で福祉を学ぶ仲間がいることを実感でき、自分も頑張ろうと思った」などの感想がありました。

今回、最優秀校を受賞した高校の選手のみなさんは、全国産業教育フェア青森大会における全国高校生介護技術コンテストに関東地区代表として出場されます。全国大会でも頑張ってくれることを期待します。